



ジャックボール (白色) 目掛け緊張の一投。応援団も息をのむ! ボールの行方は??

2月16日の少し暖かい日曜日に健康スポーツのつどい冬季大会が開催されました。ポッチャ競技はパラリンピックで観戦したことがありましたが、競技に触れるのは今日が初めてでした。投球をしてみるとボールは思いのほか重く、転がすとスピードが出ました。投げ方次第で予想もしないところに行くため結果がどうなるか周囲は大盛り上がりでした。ニュースポーツは種類が様々あり、個人的に囲碁ボールが気に入りました。大会終了時には、

- 【競技結果】
- 冬季大会ポッチャ
    - 優勝 南和田町会
    - 準優勝 衣外町会
    - 第3位 蘇我町会
  - 令和6年度年間総合順位
    - 優勝 和田町町会
    - 準優勝 殿町会
    - 第3位 南和田町会



避難者受入れ訓練に参加しました。段ボールベットは丈夫で災害時に冷たい床で寝るより暖かく体の負担も少なく感じました。スポーツで体を温めて楽しみ、訓練では身を引き締めて取組み、充実した半日となりました。蘇我町会 新井



冬季大会終了後、災害発生時における避難者受入れ訓練を実施しました。日頃から有事に備えましょう!



和田の世帯数・人口

世帯数	1,518戸
人口	4,051人
男	1,965人
女	2,086人

(令和7年.3.1現在)

健康スポーツのつどい冬季大会の避難者受入れ訓練開催



総勢24名の小学生が受講しました心を込め真剣に書道に取り組みました

芝沢小学校 矢口紘太郎

この講座がきっかけで、僕は書道が好きになって新しい楽しみを得ることができました。書道講座に参加できて、うれしかったです。

僕は、書道講座に参加してみて、「頑張つて続けて一つの作品を作り上げる」ことを自分で実感できました。やり始めたとき、最初はコツが掴めなくてうまく書けませんでしたが、先生にアドバイスをもらった後、自分でポイントを書いて書いたりして段々とうまく書けるようになっていきました。

芝っ子応援団 書道講座に参加して 1月6日・7日開催



2月21日 本格的な味 白菜キムチ漬けに挑戦! 白菜・大根・にんじん・玉ねぎ・もち粉・唐辛子・にんにく・生姜・カナリエキス等々の材料で愛情を込め作りました

最後にチヂミの作り方を学んだ。天ぷら粉を使って焼いたチヂミを皆で美味しいと言いながらいただきました。南和田町会 渡辺

韓国料理店「アリラン」で行なった講座は私も含め六人の参加でした。大根等の漬物はした事があるが白菜のキムチ漬けは初めて。材料だけでも野菜の千切り、すりおろし等、九種類の材料を用意して混ぜ合わせ、味を調え一枚一枚の葉の間に挟み入れ寝かせて二週間頃が美味しく食べ頃になるそう。乳酸菌やビタミンが豊富な韓国の漬物、私はもう一回家で挑戦して作ってみようと思う。

白菜キムチ漬け 講座に参加して



3/1 楽団ケ・セラ コンサート開催

戸手のひらを太陽にすかしてみればー戸楽団ケ・セラと観客が一体となり手話を交えての大合唱!!



2/8 やしよまづくり講座開催

やしよままで梅の花をつくりました作り始めは梅の花の形になるか心配でしたが無事完成!



1/14-25 ポッチャ体験講座開催

講座の終盤ではボールの扱いにも慣れ、絶妙なボールコントロールの連続、接戦のゲーム展開!

# 特集 和田公民館報アーカイブズ 歴史的資料 ②

## 和田のライフライン整備 上水道事業 尊い水に日々感謝!

生活インフラで最も重要な水道施設導入の様子をまとめてみました。当時、和田地区の皆さんが水道施設の認可を渴望されていた様子がうかがえます。貴重な水道水は、無尽蔵ではありません。より一層大切に使いましょう!

昭和28年(1953年)創刊号

**話題の焦点**

**我が村にも水道出来る??**

我が村の生活向上の源である水道の設備に協力しましょう

此の頃皆さんの間に寄り寄りに話題となっている事と思いますが、我々の生活の合理化の面或いは、衛生施設の完備等の点からして是非我が村も水道の設備が欲しいと云う事は永い間の我々の念願でありました。近村に於いても波田村・今井村・笹賀村等は既に完備されて居りますし、島内村・島立村も水道設備の認可を得て具体的に動いているそうです。更に県内各所にこのような動きが見られます。こうした新しい時代の流れに沿って我が村の中からも生活の自覚に基いた水道設備に対する声が台頭しているのも当然と云へませう。村としても中学校建設問題も遠からず解決されますから、水道設備の問題をとり上げ研究されていると云うので村民の非常な関心の的となっている水道について村当局に伺ってみました。

昭和28年9月8日付

昭和29年(1954年)第6号

**水道施設 認可される**

既に簡報にて度々お知らせ致しました水道問題も、関係者の努力により去る七月三十日付をもって、建設大臣ならびに厚生大臣から認可されました。

昭和29年8月1日付

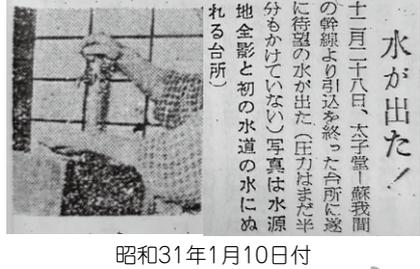
昭和30年(1955年)第12号

**給水工事 はじまる**

明年四月まで全戸給水を目標に工事を進めている水道工事も順調に進むと見られ、五月五日第一次分の各戸引込事が開始された。

昭和30年12月15日付

昭和31年(1956年)第13号



### 水が出た!

十二月二十八日、太子堂一蘇我間の幹線より引込を終わった台所に遂に待望の水が出た(圧力はまだ半分もかけていない)写真は、初の水道の水にぬれる台所

【出典：和田公民館報昭和31年第13号】

### 話題の焦点 我が村にも水道出来る!?? 我々の生活向上の源である水道設備に協力しましょう

此の頃皆さんの間に寄り寄りに話題となっている事と思いますが、我々の生活の合理化の面或いは、衛生施設の完備等の点からして是非我が村も水道の設備が欲しいと云う事は永い間の我々の念願でありました。近村に於いても波田村・今井村・笹賀村等は既に完備されて居りますし、島内村・島立村も水道設備の認可を得て具体的に動いているそうです。更に県内各所にこのような動きが見られます。こうした新しい時代の流れに沿って我が村の中からも生活の自覚に基いた水道設備に対する声が台頭しているのも当然と云へませう。村としても中学校建設問題も遠からず解決されますから、水道設備の問題をとり上げ研究されていると云うので村民の非常な関心の的となっている水道について村当局に伺ってみました。

#### ◎水道施設の認可には

国の水道条例と云う法律によると人口一万以上の町村は建設省の認可を必要として(上水道と云う)一万未満の処は県知事の認可(簡易水道と云う)で事業が始められるが飽くまで町村が主体になって事業を行わなければならないように決められている。やはり簡易水道として村独自で行うよりも上水道として事業を進めた方が補助金起債が有利になるので和田村・新村・神林村は三カ村連合の形(人口一万一千人位となる)をとって話は進められている。

#### ◎水源地は何処か

地下水は百米位掘ると飲用に供する事が出来るようで村では地下水を揚げて水源とする予定で乾と山道の二カ所の地積を農林省の係官により電気探査と云う方法で地下水を調査して貰った所、乾地積の方が可能性が在ると云う事である。

#### ◎経費は

地下水を揚げて設備を造り村へ流す幹線を作るまでに大体二千四百万円位(一戸当たりになると三万四千円位)、国の方針としてはこの幹線を作るまでは国の補助と起債によって事業が出来る仕組になっているが起債の方は自治庁と云う役所で許可する事になっているが仲々此方の望むようにはゆかないようである。凡そ補助が六百万円あるとして残り千八百万円は起債でまかないたい計算である。(中略)認可をうけて補助起債の見通しがついて始めて事業に始まるので順調にいて昭和三十年の秋頃には何とかかなると云うお話です。特に村当局としては補助起債についても最大努力をして一戸当たりの負担を最低に止めて全村が挙げて水道を利用出来るよう念願して話を進めて居りますから我々の生活向上のために村民各位の絶大な理解と協力を願いたいと云うお話でありました。

#### ◎結論

兎に角水道の設備はすぐ目の先にある婦人の労働の合理化や川水使用による伝染病の集団発生等の事柄をとり上げて見ても是非の結論をする余地のない事であって村当局も本腰を据えてやってもらいたい事ではありますが問題は我々村民の決心一つにあると思われまので我が村の将来のために凡ゆる努力をすべきかと感じた次第です。

【出典：和田公民館報昭和28年創刊号】

「ひな祭り」別名「桃の節句」とも呼ばれ、女の子の幸福を祈る行事とされています。だいたい三月三日に行われますが、長野・埼玉・山梨などは四月三日に行われています。違いは、旧暦の三月三日、新暦の四月三日という事によります。

三月とは言え、まだ寒い日が続くなか段飾りを飾るのはとても大変でした。人形一体一体に道具を持たせ、烏帽子をかかせたり、それでも一年に一回出さないと結婚できない、幸せになれないとの言い伝えもあり、頑張って飾りました。

今では、ひな人形を飾る機会もなくなりましたが、たまには人形の様子も見てみなければと思う今日この頃です。

中町会 中野

窪田空穂記念館 冬ひざし共催 2/22

**ひな祭り**

窪田空穂の随筆「七十年前の中学生」を題材に明治時代の和田村・和田小学校・開智学校等の様子を学びました